

2025. 1. 28 チームなわとび

1月から始まった縄跳び遊び。

日々、「なわとび10カード」に挑戦する子、「つづけてとぶカード（技カード）」に挑戦する子などいろいろな姿が見られます。

今日、「先生、（つづけてとぶカードの）No3のカードちょうだい！」とK子がいいに来ます。教師はNo3を渡すと、K子は「じゃあ、名前を順番に書こう」とM子とS子に声をかけます。

すると、「私は前跳び100回とぶから、Mちゃんはあや跳び20回お願い！」と声をかけるK子。

教師はその様子を見守ります。

M子があや跳びを跳ぶところを祈りながら応援するK子。あやとびを続けて12回跳べました。「やった！シール増やそう！」と一緒にシールを貼りに行く二人。次はK子が縄を持ちます。2人ともK子の前跳び100回を数えます。K子が前跳び100回跳べると「やった！100回とべた！」と3人で大喜び。シールが増えています。

「なわとび10カード」や「つづけてとぶカード」は個人カードとして教師は用意をしています。

個人で少しずつ練習しながら、縄跳び遊びに興味をもちながら、できた達成感も味わってほしい。さらには目標をもちながらスキルアップもしてほしいとも願っています。毎年形を変えながらやっていますが、チームで1枚のカードに取り組んでいるのは初めてでした。

自分なあや跳びがちょっとまだ跳べないから、友達に変わりに跳んでもらおうと考えたのかもしれません。

その代わり、前跳びやケンケン跳びなど自分ができるとは「任せて」と伝えています。

自分の得意を跳ぶ姿。それを応援する仲間の姿。仲間を頼る姿。

縄跳び遊びを通し、役割分担や、自己理解と他者理解が肯定的に行われている感じもしました。

二人跳びで縄跳び10カードをしている子たちもありました。その協働もいい感じでしたが、チームでシールを埋めていく協働の姿、課題に向けて仲間と取り組む姿にも素敵さを感じます。

昨日は、「あんたがたどこさ」のリズムに合わせて前跳びをし、「さ」だけあや跳びをしている子もありました。

その発送にもすごいな！と感動をして、みんなの前でも紹介してもらいました。

いろいろな形で遊び込んでいくうちに、新たな跳び方を覚え、まだできなかった跳び方にいつか挑戦していくのかもしれません。どんどん技を習得していくことも大切なかもしれませんが、縄跳び遊びを子供たちなりに楽しんでいくことをまずは大切にしていきたいです。

子どもたちの姿からまた新たな気づきをさせてもらっています。そのような姿に寄り添いながら、これからも支えていきたいと思います。

